

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

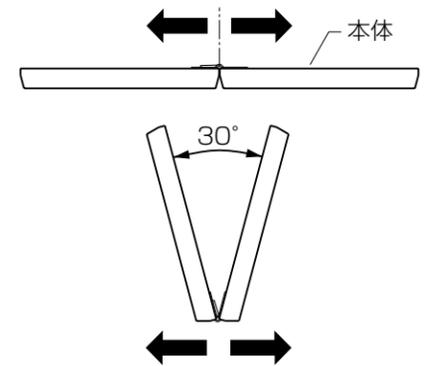
### ▲注意

- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落する原因となります。
- 吊車は本体にねじ止めし、ガタツキがないように固定してください。本体が脱落する原因となります。

### ■本体の開閉操作上のお願い

本体を開閉する際は、下記事項を守って操作してください。

- 本体をフラットのまま移動させます。
  - 30°の角度で本体が一時固定するようになっていきますので、この状態で移動させます。
- ※角度が30°未満の状態では移動させないでください。この場合、動きがギクシャクしたり、下部のガイドローラーがレールから外れたりする場合があります。



### ■取付け上のお願い

- 本製品は上吊り方式のため、はり又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面のはり又はまぐさをご使用ください。(表-1)
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 下枠の納めに応じて縦枠を切断してください。

(表-1)

開口	本体重量
3尺間口	20kg
4.5尺間口	40kg
6尺間口	50kg
9尺間口	70kg

#### ■縦枠の切断

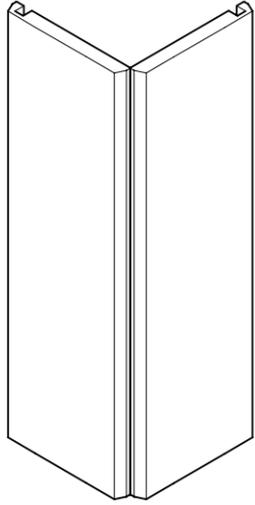
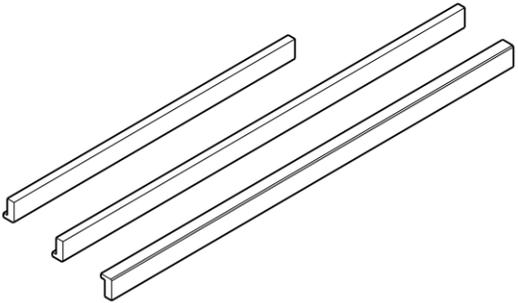
薄下枠	切断不要
埋込下枠	切断(12mm)

### ■本体保管上のお願い

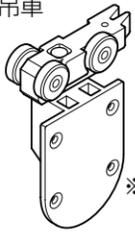
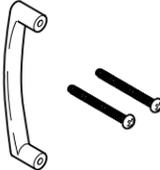
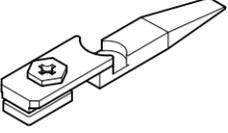
- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。  
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

## ■部品・部材の明細

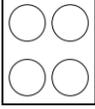
※枠はノックダウン、本体は完成品

本体	枠	下枠
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上枠</li> <li>●上レール</li> <li>●縦枠 (2本)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下レール</li> <li>●薄下枠</li> <li>又は</li> <li>●埋込下枠</li> </ul>
		ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)
		

## ■部品セット 〔本体用〕

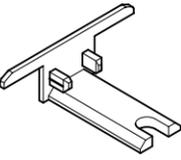
部品名称	吊車	皿タッピンねじ φ3.5×20 (吊車取付け用)	ガイドローラー	把手セット (ねじ付)	調整スパナ	ガイドローラー固定金具
呼称	 ※吊車は 三輪です					
全機種	2	8	2	1	1	1

## 〔枠用〕

部品名称	皿小ねじ M4×50 (上枠・縦枠組立て用)	トラスタッピンねじ φ4×60 (上枠躯体取付け用)	皿タッピンねじ φ4×50 頭部シート色塗装 (縦枠躯体取付け用)	穴埋めシールシート
呼称				
W07・08M	4	4	8	※1
W12・13M	4	5	8	※1
W16・18M	4	6	8	※1
W24	4	8	8	※1
W26・27M	4	9	8	※1

※ノンケーシングタイプのみ

## 〔下枠用〕

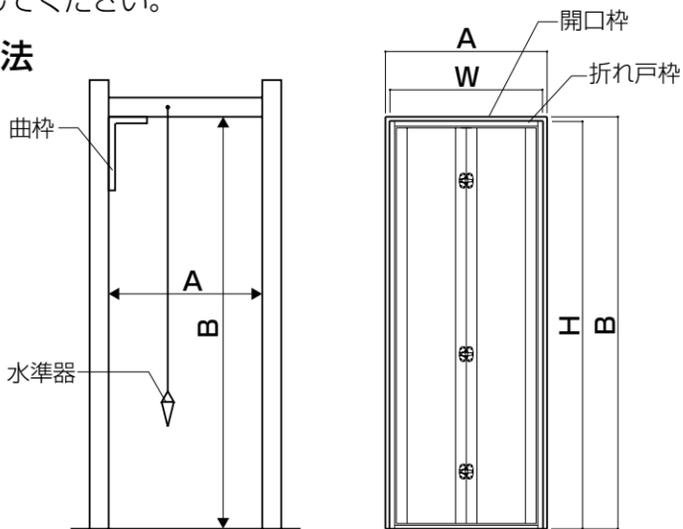
部品名称	皿小ねじM4×50 (薄下枠・縦枠組立て用)	皿木ねじφ3.5×20 (枠取付け用)	下枠ピース
呼称			
薄下枠W07~08M	4	2	-
薄下枠W12~18M	4	3	-
薄下枠W24~27M	4	5	-
埋込下枠W07~18M	-	3	2
埋込下枠W24~27M	-	5	2

## 開口部の確認

- ※開口部の水平・垂直を確認してください。
- ※開口部寸法が右記寸法になっていることを確認してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

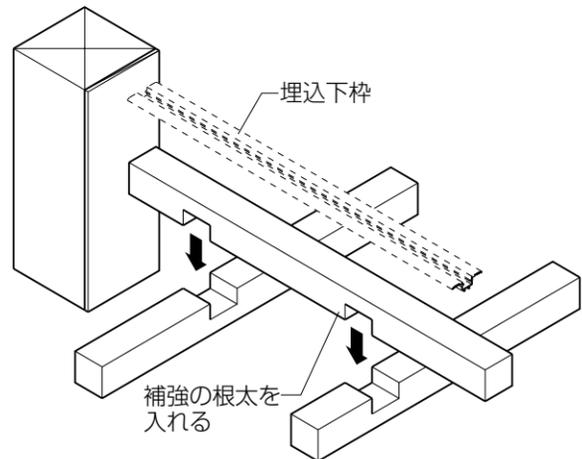
### ●開口寸法



## 床の張り方

### 1 下枠下地の確認

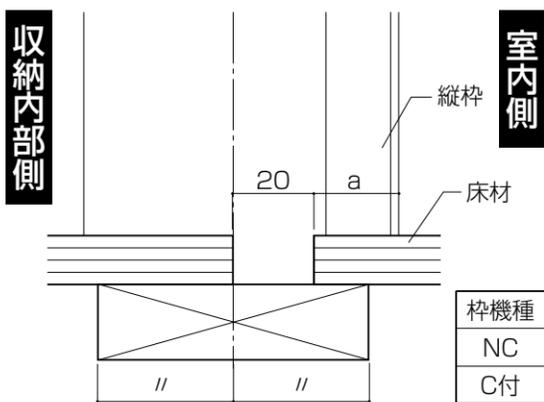
- 枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



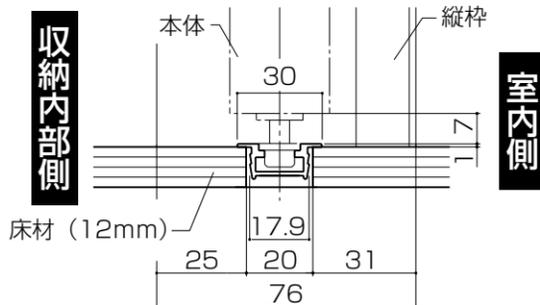
## 2 床張り位置

### 〔床先張り(枠後付け)の場合〕

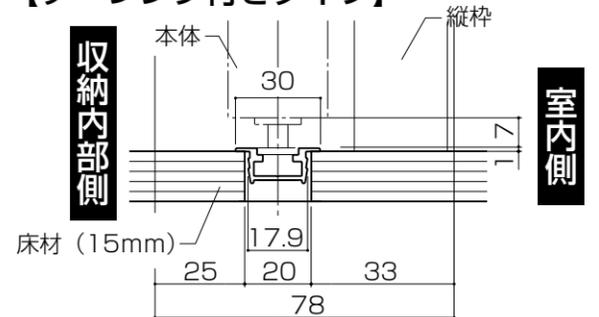
- 床材間に埋込下枠が入りますので、室内側縦枠木口からa寸法内側の位置に20mmあけて、床材を張ってください。
- ※床材の間口寸法(20mm)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。



### 【ノンケーシングタイプ】

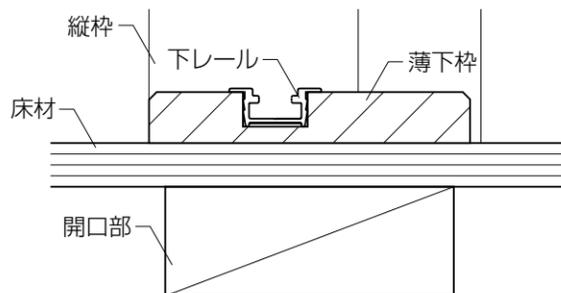


### 【ケーシング付きタイプ】



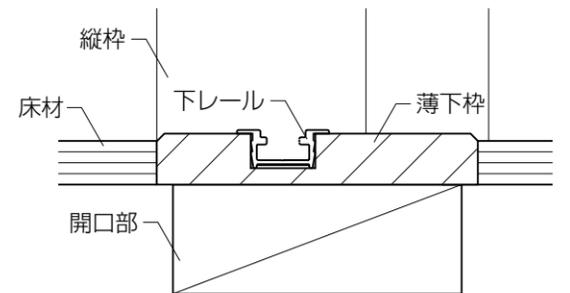
### 【薄下枠を使用する場合(床載せ納まり)】

- 床材を張ってから枠を取付けてください。
- ※床材をあけて張る必要はありません。



### 【床後張り(枠先付け)の場合】

- 枠取付け後、縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。



## 取付け順序

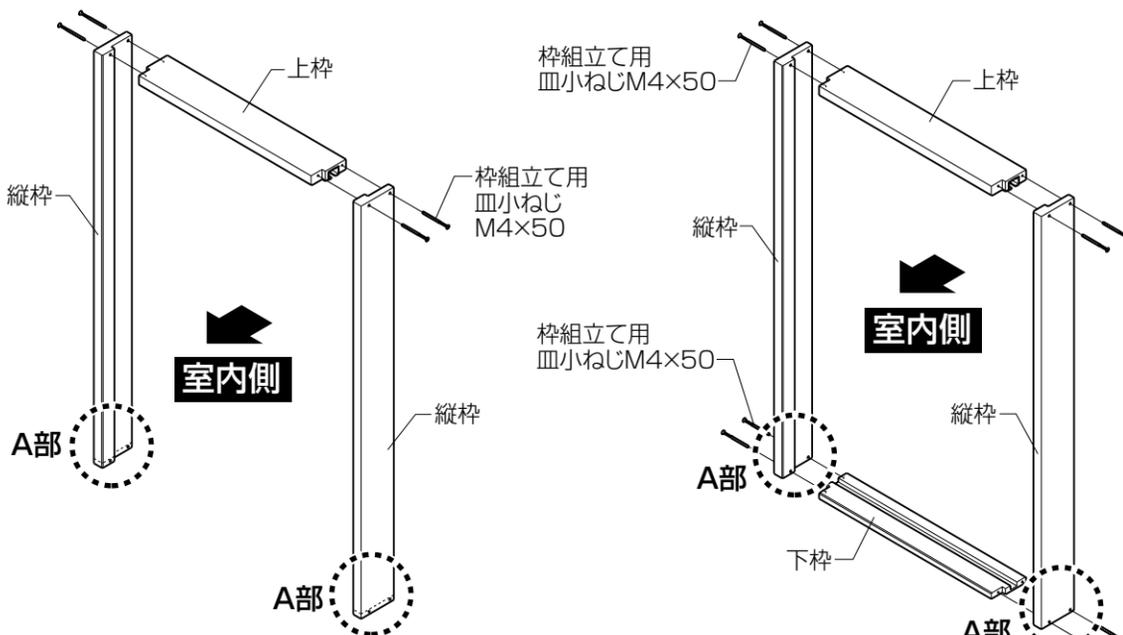
### 1 枠の組立て

#### 〔埋込下枠を使用する場合〕

- 縦枠下部(A部詳細図中斜線部)を切断してください。
- 下図のように各部材を組み合わせ、枠組立て用皿小ねじM4×50で固定します。

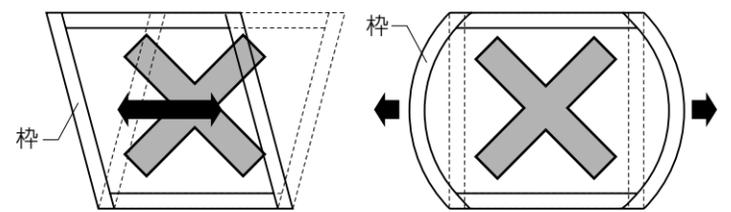
#### 〔薄下枠を使用する場合〕

- ※縦枠下部(A部)は切断せずに使用してください。
- 下図のように各部材を組み合わせ、枠組立て用皿小ねじM4×50で固定します。



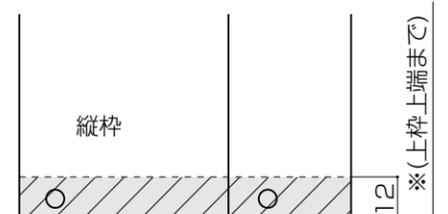
●枠組立て上のお願  
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

●枠組立て上のお願  
※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。  
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。  
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



### ■A部詳細図

※この寸法は床上面(F.L.)から上枠上端までの寸法を、  
H23=2306  
H20=2023  
にする時の寸法値です。現場の納まりにより変更してください。



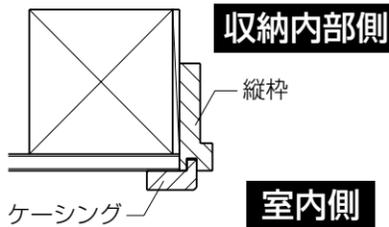
## 2 枠の取付け

※本体の開閉操作が重くなることがありますので、枠は水平・垂直を出して、ゆがみがないように取付けてください。

●組み立てた枠を開口部に入れます。ここでケーシングタイプの場合は、縦枠にケーシングを差込み、枠の固定位置を確認します。

※ケーシングの足が短いため、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。

※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



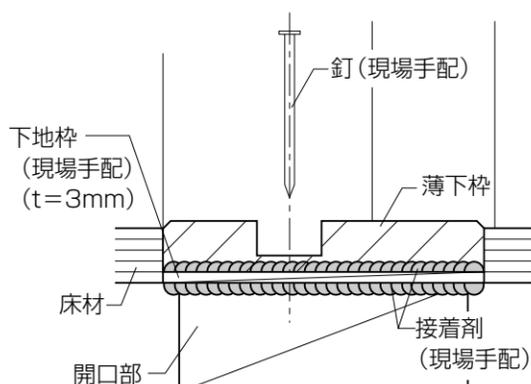
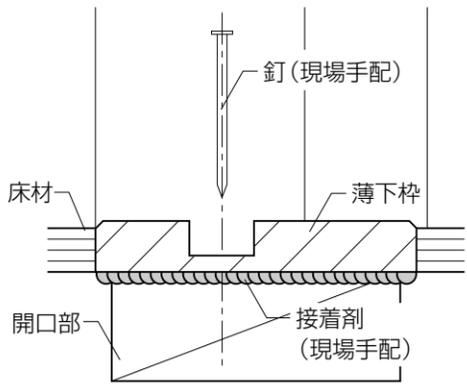
●上枠・下枠・縦枠を躯体開口部に固定します。その際、長レールも合わせて固定します。

### ●床材厚さ12mm

※必ず薄下枠に接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。

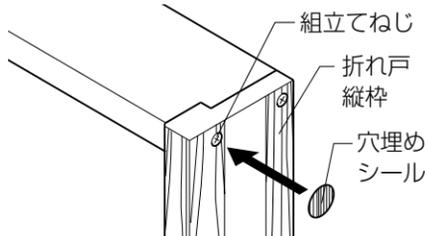
### ●床材厚さ15mm

※必ず薄下枠と下地材に接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。



### 【穴埋めシールの使用方法】

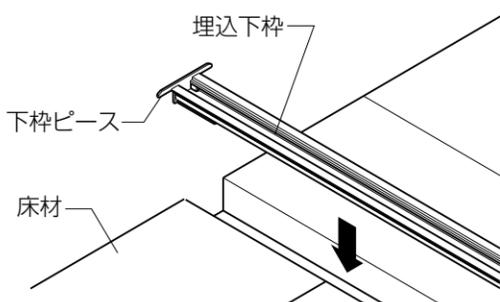
ノンケーシング枠において、折れ戸縦枠が、仕上げボード面よりも12mm以上出の場合に使用してください。右図のように、穴埋めシールの木目方向を合わせて、組立てねじ頭部に張ってください。



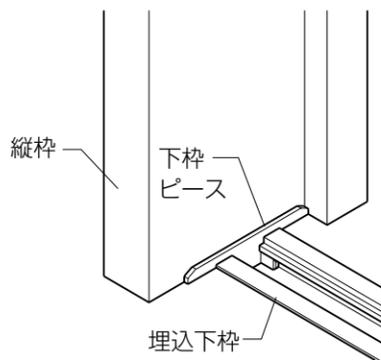
## 〔埋込下枠を使用する場合〕

- ①下枠ピースを取付けた状態で床に埋込みます。(図-1)
- ②(図-2)のように縦枠段差部に下枠ピースをあて位置決めをし、上枠・縦枠を開口部に固定します。(図-3)
- ③埋込下枠をねじ（皿木ねじφ3.5×20）で固定します。(図-4)

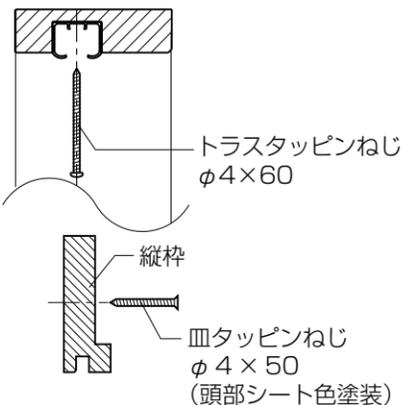
(図-1)



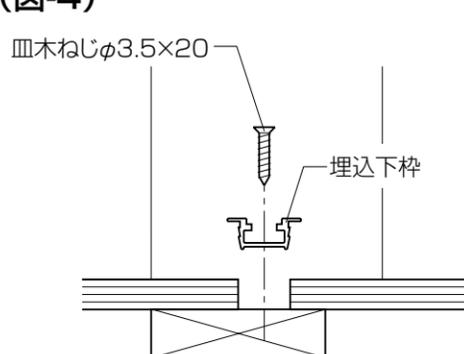
(図-2)



(図-3)

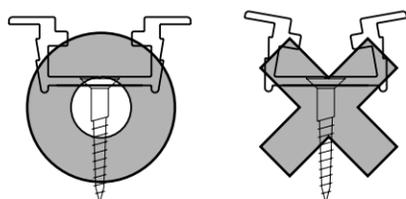


(図-4)



### 埋込下枠取付け上のお願

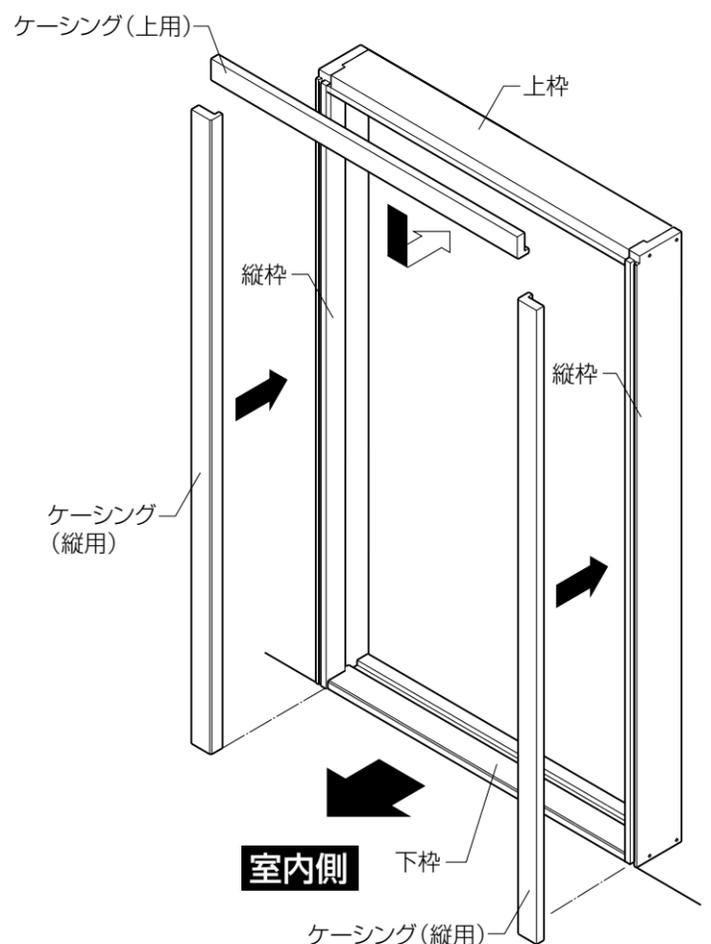
※埋込下枠取付けねじの締めすぎにご注意ください。埋込下枠を変形させると本体の開閉不具合につながります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



## ■ケーシングの取付け

### 【ケーシングタイプのみ】

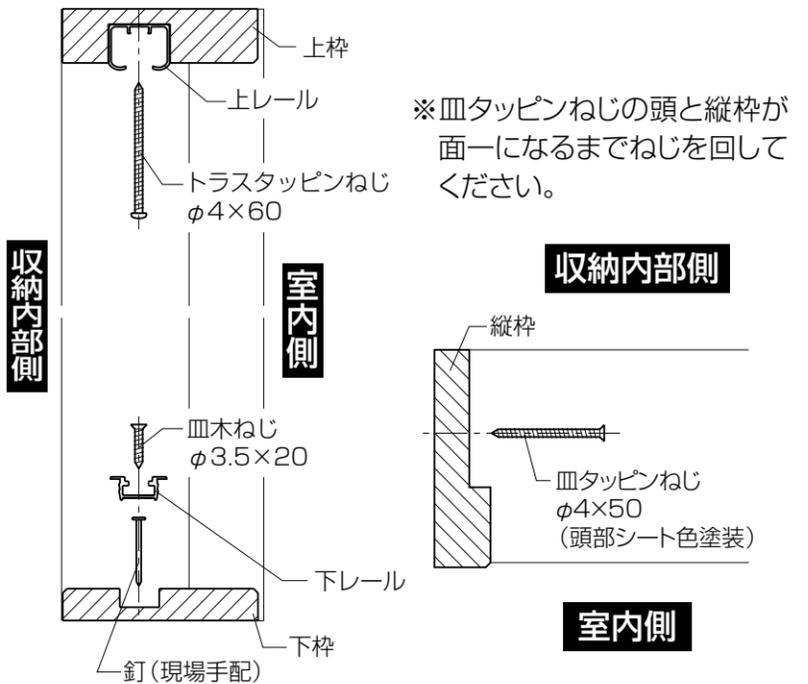
- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシングを取付けてください。
- ①別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。（上用ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。）
  - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
  - ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシングを固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



## ▲注意

●上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落する原因となります。

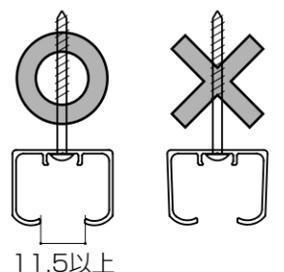
### 〔薄下枠を使用する場合〕



※皿タッピンねじの頭と縦枠が面一になるまでねじを回してください。

### 上枠取付け上のお願

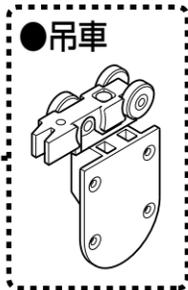
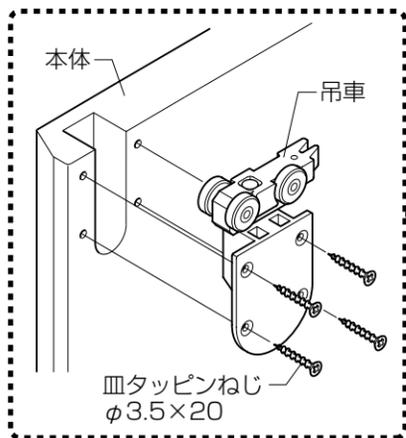
※上枠取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の開閉不具合につながります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



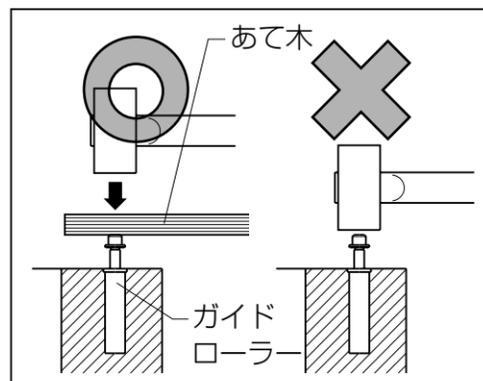
11.5以上

## ■本体の吊込み

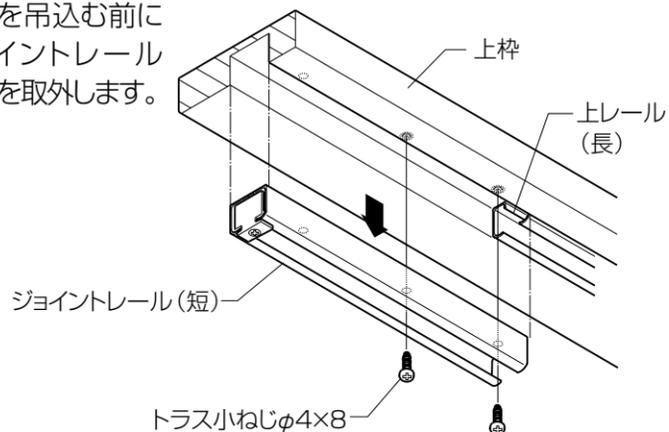
- ①本体上部の切欠き部に吊車を差込み、皿タップピンねじφ3.5×20で固定します。  
ガイドローラーを本体下部の加工穴に圧入します。  
※他シリーズ本体を兼用した場合、ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみとしてください。



※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部にあて木を使用し、ハンマーなどでたたき入れてください。



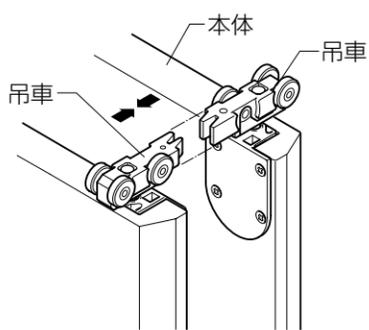
- ②本体を吊込む前にジョイントレール(短)を取外します。



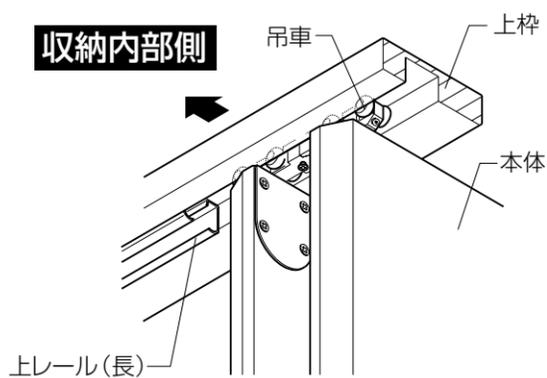
### ▲注意

●吊車は本体にねじ止めし、ガタツキがないように固定してください。本体が脱落する原因となります。

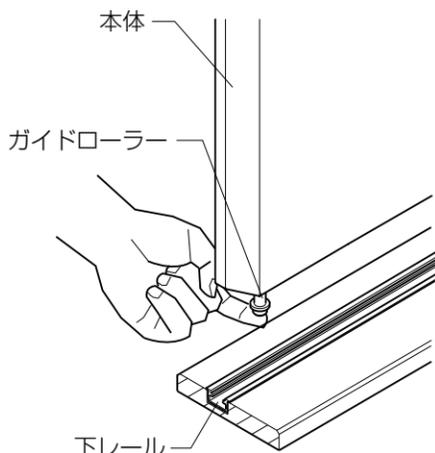
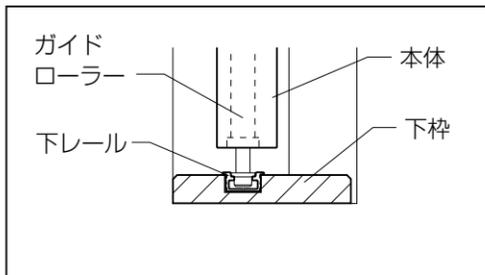
- ③本体を折りたたんで本体上部の左右の吊車をかみ合わせます。次に上枠の上レール(長)端から、吊車を差込みます。



### 収納内部側

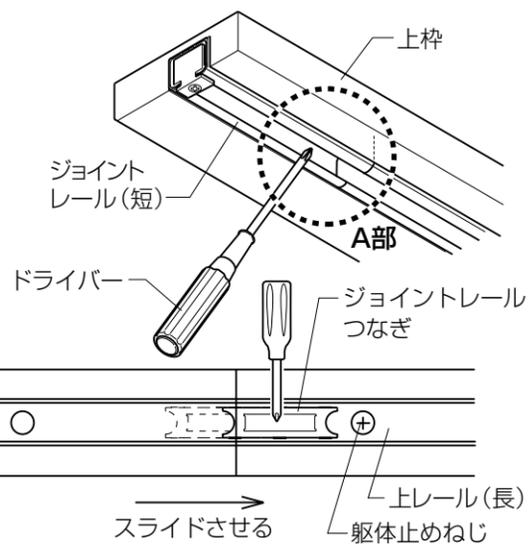


- ④ガイドローラー先端を指で押さえ、下レールへ差込みます。

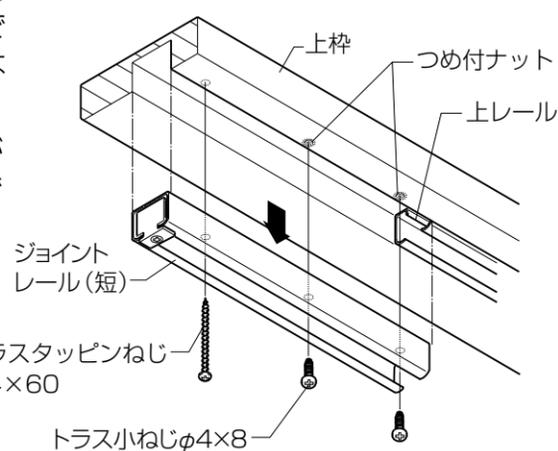


- ⑤本体を吊込んだ後、ジョイントレール(短)を取付けます。

・ジョイントレールつなぎをスライドさせます。



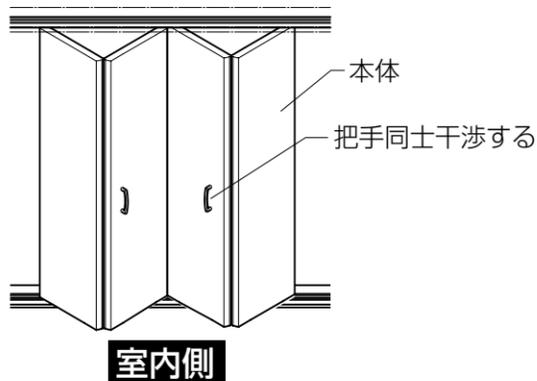
※前後のズレを手で合わせ+ドライバーでジョイントレールつなぎをスライドさせます。  
・レール間のすき間が出ないようにねじでジョイントレール(短)を取付けます。



- ⑥把手を取付けます。

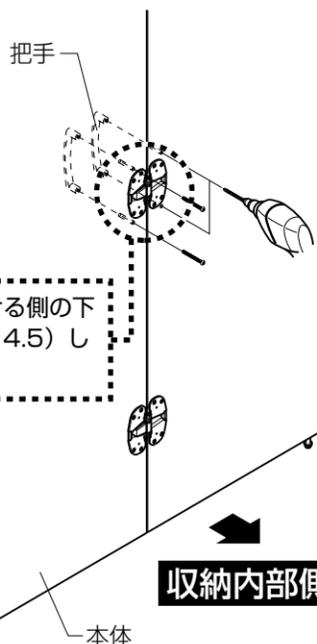
※2枚の本体の裏面に把手取付け用の下穴が中間位置まであけてあります。把手を取付ける側の本体の下穴を貫通(φ4.5)してください。

●把手取付け時のお願い  
※フリータイプの時に、本体を折った状態で向かい合わせになる本体それぞれに把手を取付けないでください。把手同士が干渉してキズが付く原因となります。



### 室内側

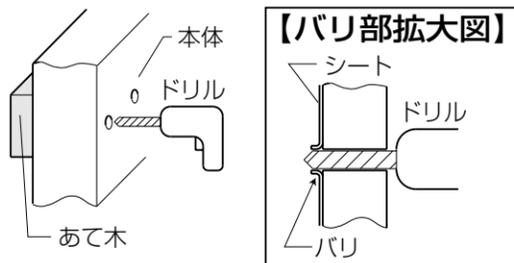
把手を取付ける側の下穴を貫通(φ4.5)してください。



### 収納内部側

### 把手取付け時のお願い

※把手穴を貫通する際は、バリ発生防止のため本体表側に必ずあて木をしてください。それでもバリが出た場合は、無理にはがさず、そのまま把手を取付けてください。(多少のバリは把手の下に隠れます。)

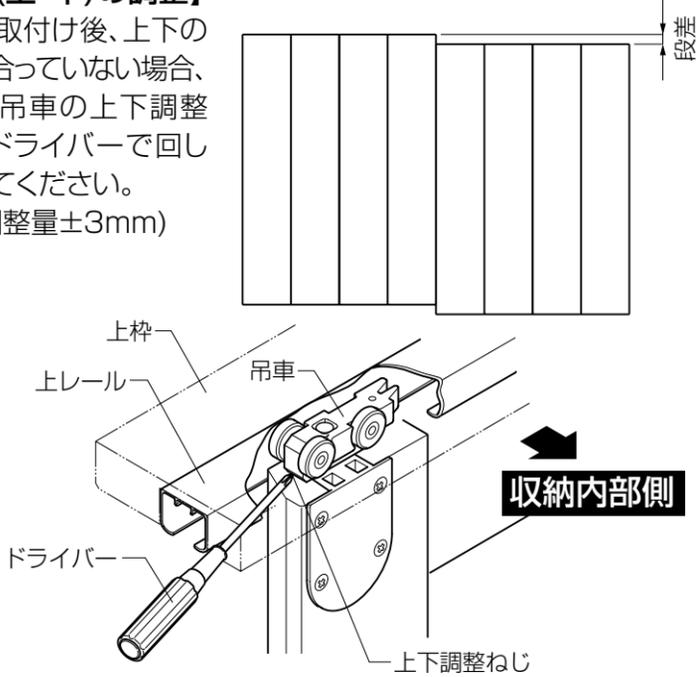


## ■建付け調整

本体の段違いおよび左右のチリを調整します。

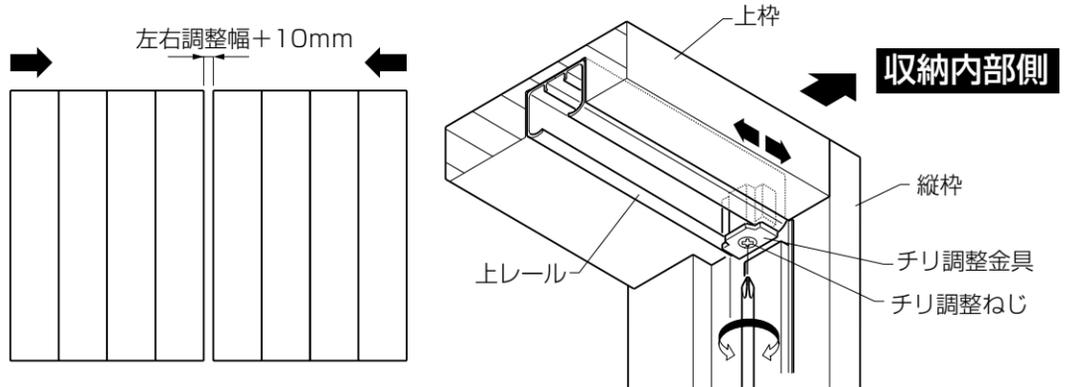
### 【段違い(上・下)の調整】

- 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。(上下調整量±3mm)



### 【チリ(左・右)の調整】(フリータイプの場合)

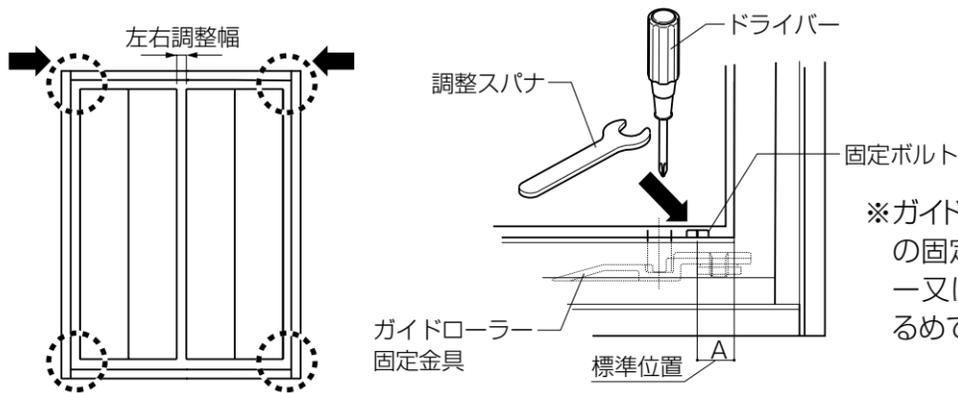
- 本体間のチリが大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているチリ調整金具で調整できます。チリ調整ねじをドライバーで回し、調整してください。チリ調整ねじを右に回すと、チリが小さくなります。  
注)チリ調整金具は、上レールの左右に付いています(W07・08Mは、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。



### 【チリ(左・右)の調整】

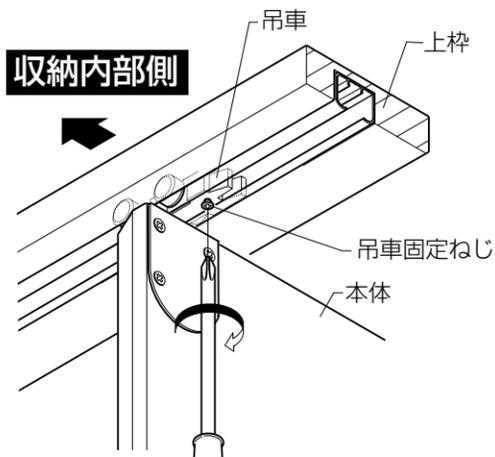
#### (ピボットタイプの場合)

- ガイドローラー固定金具の取付け方法は【フリー→ピボットの変更】を参照してください
- 本体間のチリが大きい場合、吊車およびガイドローラー固定金具で左右調整をおこないます。



※ガイドローラー固定金具の固定ボルトをドライバー又は調整スパナでゆるめて移動させます。

※吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。

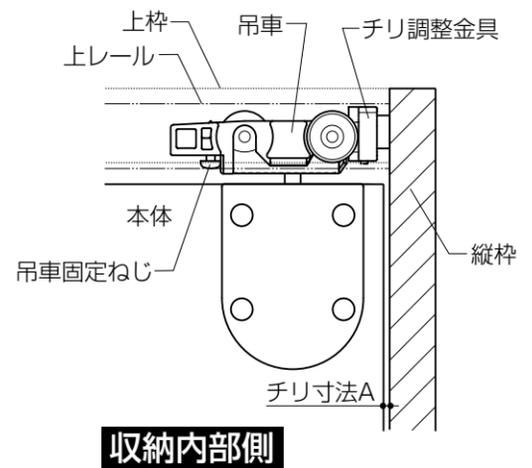


### 【フリー→ピボットの変更】

#### ●本体上部の固定

- ①本体をピボットにしたい位置まで移動させます。
- ②固定したい本体側の吊車の吊車固定ねじを回し、吊車が固定されるまでねじを回します。
- ③本体を左右にゆすって本体が固定されたかどうかを確認します。

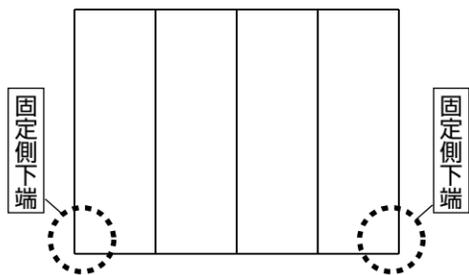
	チリ寸法A (mm)
本体1Pの時 (W07, 08M)	3.5
本体2Pの時 (W12, 13M, 16, 18M)	4
本体3Pの時 (W24, 26, 27M)	3.5
本体4Pの時	3.5



#### ●本体下部の固定

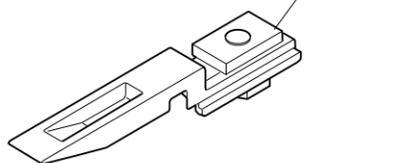
※ピボットタイプとして本体を使用する場合は、本体用部品セットに同梱のガイドローラー固定金具を用いて本体固定側の下端を固定してください。

#### ●本体2P固定の場合



- ①本体を正しい位置に移動させて、本体垂直がでているか確認します。
- ②ガイドローラー固定金具可動部を下図のよう長手方向に向けます。

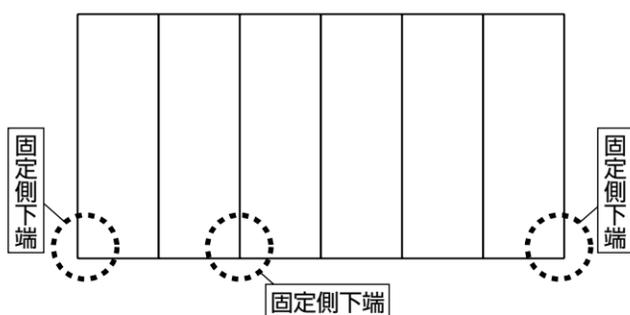
#### ●ガイドローラー固定金具 可動部



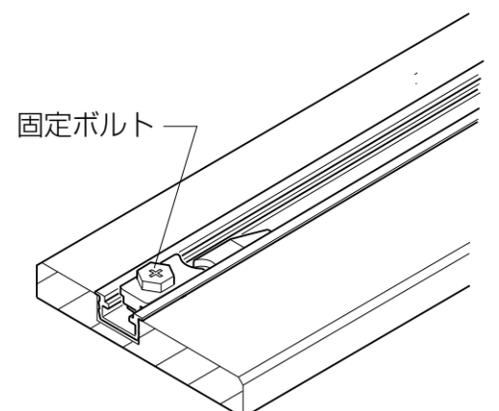
#### ●ガイドローラー固定金具使用数量

	数量
本体1P固定の場合	1個
本体2P固定の場合	2個
本体3P固定の場合	3個
本体4P固定の場合	4個

#### ●本体3P固定の場合

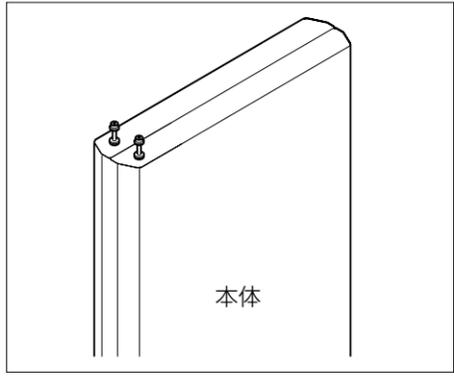


- ③ガイドローラー固定金具可動部を、長手方向に保ったまま下レールに取付けます。

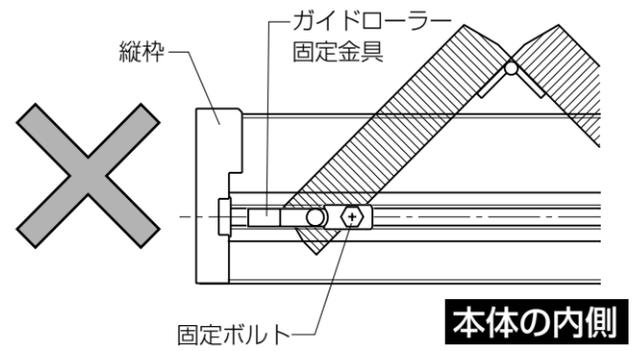
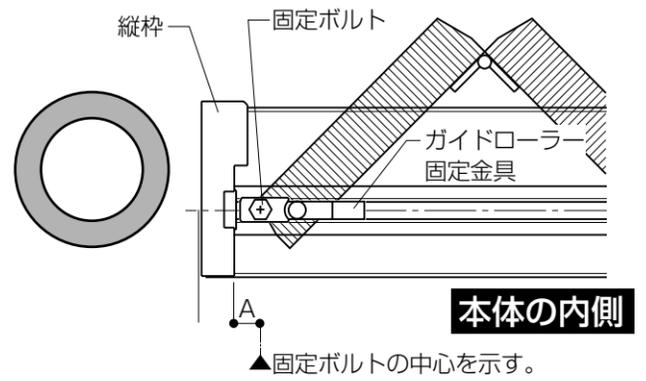
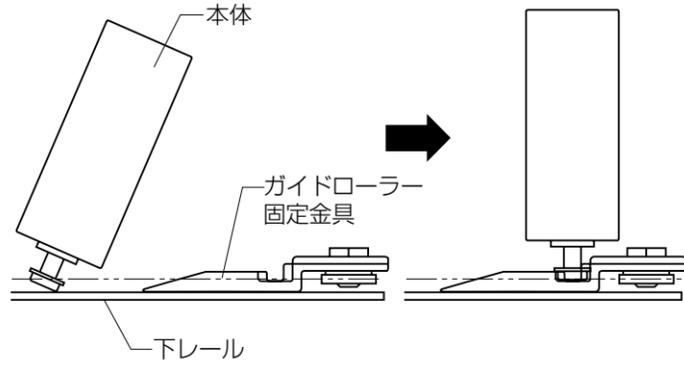


固定ボルトを、ドライバー又は調整スパナにて締付けてください。

- ④本体のガイドローラーをガイドローラー固定金具に取り付けます。
- 1.下図のように本体をたたみます。
  - 2.ガイドローラーがガイドローラー固定金具にはまる(「カチッ」と音がする)まで本体を立てます。
  - 3.別の本体も同じ手順で吊込んでください。



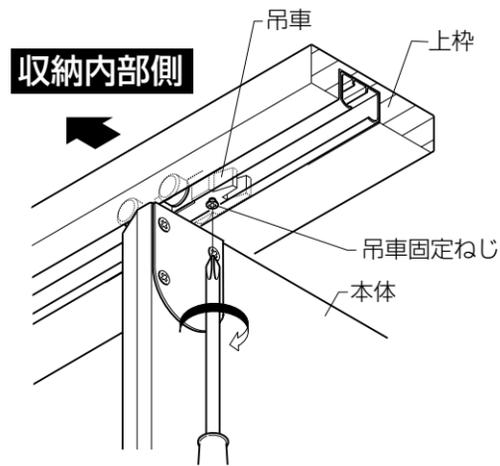
- ⑤ガイドローラー固定金具の取付け向きは、下図のように固定ねじが本体の外側になるよう、取付けてください。
- ガイドローラー固定金具の固定位置は、右図を参照してください。
- ⑥固定ボルトをプラスドライバー又は調整スパナで右に回します。ガイドローラー固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。



固定ボルトの中心までの寸法	A
W12、13M、16、18Mの場合	13
上記以外の場合	12.5

### 【ピボット→フリーの変更】

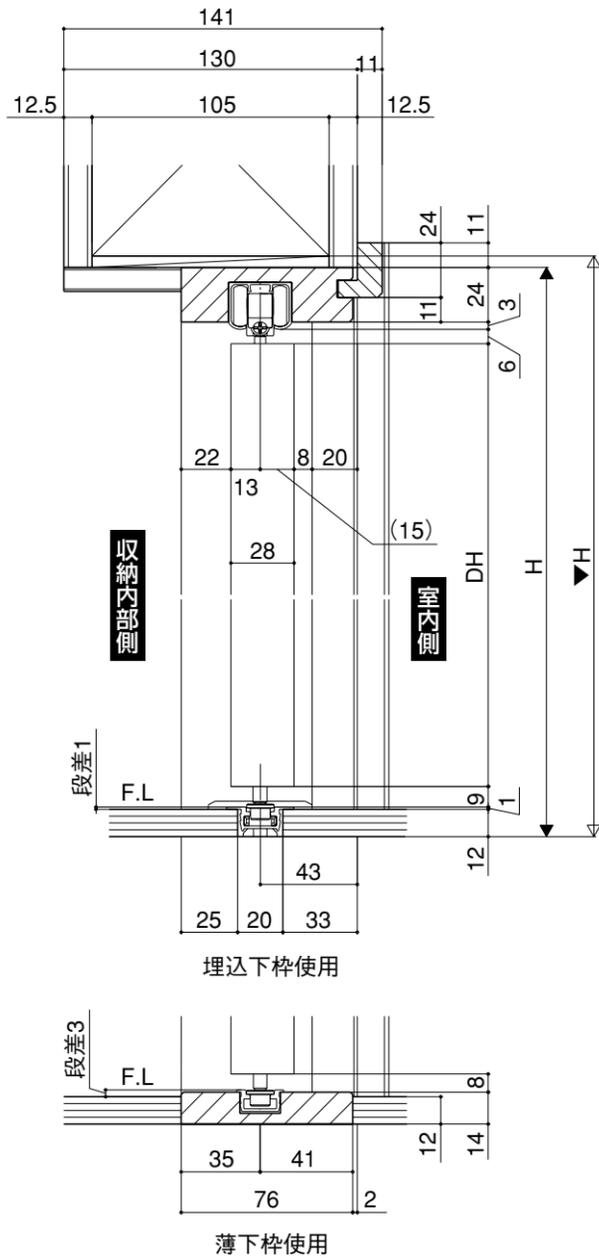
- ①吊車の吊車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。  
ゆるめる量が少ないと吊車の動きが悪くなり、開閉不具合の原因となります。
- ②ガイドローラーをガイドローラー固定金具から外し、ガイドローラー固定金具の固定ボルトをゆるめて下レールから外してください。この時、ガイドローラーは必ず下レールにはめ込んでください。



### ■納まり図

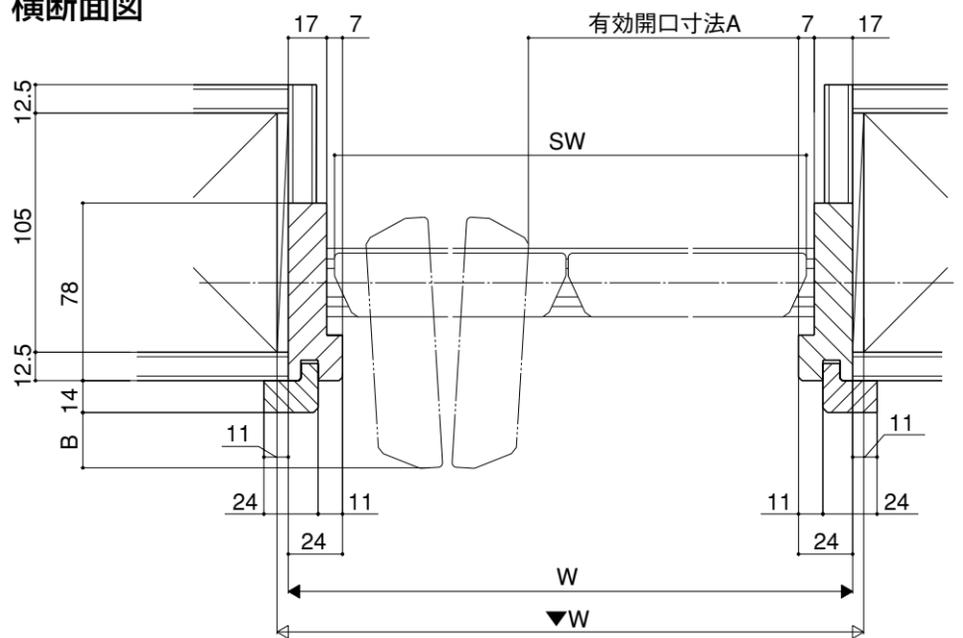
#### ■クローゼットドア折れ戸 フリータイプ ケーシング付

##### 縦断面図



基本寸法 (mm)	W呼称	07	08M	12	13M	16	18M
	W	734	824	1183	1323	1643	1823
W呼称	24	26	27M				
W	2443	2581	2713				
H呼称	20	23					
H	2035	2318					

##### 横断面図



W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W07(734)	566	265
W08M(824)	657	310
W12(1183)	894	204
W13M(1323)	1034	239
W16(1643)	1355	319
W18M(1823)	1534	364
W24(2443)	2033	319
W26(2581)	2171	342
W27M(2713)	2303	364